

2017年4月25日

株式会社レノバ

岩手県軽米町に大規模太陽光発電所の起工式を挙行

株式会社レノバ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 木南陽介、以下レノバ)は、当社が事業計画の策定、開発プロセス全般を主導して開発を進めている軽米東ソーラーの起工式を、2017年4月20日に挙行いたしました。

軽米東ソーラーは、昨年起工した軽米西ソーラーと八戸自動車道をまたぎ隣接した場所にあり、東西の大規模太陽光発電所の合計は、事業用地が約450ha、発電容量が128.8MWとなり、施工の難しい山間部における開発事業としては日本最大規模となります。



軽米東ソーラー完成予想図

起工式の当日は、地権者、地元軽米町の関係者など140名以上の来賓をむかえ、工事の安全を祈願いたしました。

軽米東ソーラーは、2019年12月の運転開始を予定しており、これからの工事期間中は、地元組合、企業との連携や地元の人材などを活用しながら工事が進む予定です。

【軽米東ソーラー 概要】

会社名	合同会社 軽米東ソーラー
事業用地	300ha
開発面積	123ha
設備容量	80.8MW（モジュールベース）
工事期間	2017年3月～2019年11月末
運用開始	2019年12月1日（予定）

《リリースに関するお問い合わせ先》

株式会社レノバ 社長室 Tel:03-3516-6263/Eメール press@renovainc.jp